

当会会員の(株)メデック (函館市) が、  
平成29年9月26日(火)付の、日刊工業新聞に紹介されました。



# メデック、食品ロボ参入

## 6億円投資市場開拓

【札幌】メデック(北海道函館市、漆寄昭政社長、0138・52・9775)は、ロボット事業に乗り出す。半導体や自動車分野向け省力化装置の受注が好調で、事業の延長上の展開として食品向けロボット市場開拓を目指す。この一環で、本社や千歳営業所(同千歳市)を増設するほか、ロボット制御などを担う関連会社、CAMセンター(同函館市)の新本社も開設する。総投資額は約6億円を見込む。ロボット事業の相乗効果を加え、グループで2017年2月期の売上高64億円から18年2月期に同77億円へ引き上げる。

産中  
生高  
でを  
増設  
効本  
率の  
るの

メデックグループは、導体向けの需要が伸びる中、省力化装置の開発・製造、金属部品の精密加工などを手がける。半導体向けにも安定している。さらに菓子製造など

ど食品産業向けの省力化装置・ロボットにも展開する計画で、新たな経営の柱として育成する方針。同社は事業拡大に向け手狭になっていたグループ各拠点の増設や新設を決めた。

加工を手がける関連会社のプロメック(札幌市白石区)でも設備を増強する。現在、マシンングセンター(MC)33台を所有しているが、19年には40台まで増やすことを検討している。

メデック本社では延べ床面積2200平方メートルを拡張し、主に自動車関連に対応する千歳営業所は同700平方メートルを増築する。CAMセンターは函館市内に同350平方メートルの本社を新設する。18年1月20日までに全てを完成する予定。グループ人員も17年2月期の180人から、19年2月期には230人に増員する計画だ。また、機械

メデックの漆寄社長は「19年2月期にはメデックグループの売上高100億円を目指したい」と話す。